

特集

続・剣禅一味

剣道範士 小川忠太郎先生

人間形成の剣と禅	丸川	春潭
正念相続	小川	刀耕
剣道範士小川忠太郎先生 道人の生涯 (二)	長野	善光
我が正師 小川忠太郎先生	加藤	達人
剣聖小川忠太郎先生の求道心 ...	井手	勝美
求道の剣士から見た小川先生と一般剣道界	椎名	市衛
剣道、数息観そして参禅	宮下	宝鏡
剣、禅の道を生きて(二)	武藤	仁剣
つかめ、広がれ、小川忠太郎の剣道 - 「剣道家のための参禅会」レポート -	栗山	令道

小川先生は「道の修行は、まず正しょうぼう法みょうげんを伝える明眼みょうげんの師について基本の行ぎょうを十分に鍛錬し、三昧さんまいりよく力を養い、真実の自己を頓悟とんごする。これが第一段階である。」と申されております。先生は、剣は笹森順造先生（小野派一刀流）と加藤完治先生（直心影流）、禅は釈宗活老師とその法嗣立田英山老師（人間禅教団第一世総裁）という正師しょうしに会うことを得て、ついには剣禅の道を究められました。任運自在の境涯にあって日常生活を楽しまれながら、最後まで正念相続の修行を続けられました。本号には、小川先生の薫陶を受けられた剣道家の方々から貴重な玉稿を賜りました。